

市議会議員小池みよ子の **ひたすら鹿嶋のために**

活動報告

Vol.4

小池みよ子
後援会会報 vol.4〔発行〕
小池みよ子後援会
〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2
TEL 0299-83-5252
携帯電話、090-1690-0136

所属委員会

総務企画委員会 副委員長／議会運営委員会／広報委員会

議会報告

平成23年度9月市議会 一般質問



迷犬エルと！

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

今年も残すところあとわずかとなりました。3月11日の東日本大震災に始まり、福島原発事故、事故による放射能汚染の問題に加えて、平井東部土地区画整理組合に関係して常陽銀行からの提訴の問題など、目の回るような一年でした。九月議会では、ドア・ツー・ドアのデマンド交通システムの必要性、そして、敬老会の対象年齢の引き上げ、震災復興復旧の進捗状況などを質問させていただきました。特に子ども達への放射能の問題、除染の問題、海岸線の築堤の必要性などを訴えました。皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。

質問1、公共交通体系の再構築について

Q1 混み過ぎるコミバスの日のその後の対応は

一日乗り放題200円の混み過ぎるコミバスの日（火、土）について、13しか座席がないバスに40人以上が乗り込み大変危険な状態であるが対策を打ってきたのか。いつまでこの状態を放置しておくのか伺いたい。

A1 料金体系を平準化し、解消を図るコミバスの日の安全対策について、事業者への要請、協議を重ねているが、今年度中に料金体系を平準化し、利用者の偏りを解消していきたい。特に混んでいるときの安全運行については、万全を期すよう事業所に要請していく。

Q2 ドア・ツー・ドアの乗合タクシーの必要性について

今年の5月、1,560人の署名を添えて市長に乗合いタクシーの必要性を訴えたが何の回答もない。高齢者の経済状態や生きがい作りも視野に入れた足の確保は大きな問題と思われるが考えを伺いたい。

A2 デマンド交通について、コミュニティバスの定着と並行して、業者や関係者と具体的な協議を展開していきたい。

Q3 万が一、事故が起きた場合の責任は

コミバスの日の改善について、今年度中ということで、万が一事故が起きたときは、どのような責任をとるのか伺いたい。

A3 民間事業者の責任が問われる

民間の事業者による事業であり、事業者の責任が問われると思うが、本市としても事業者対応を行っていただくよう要請していきたい。料金体系の見直し時期は、来年の2月か3月頃と考えている。



質問2、敬老会の対象年齢の見直しについて

Q1 敬老会の参加対象年齢の見直しについて、高齢化により後期高齢者医療など財政的負担が厳しくなっている。対象者も1万人を超えようとしている今、対象年齢の引き上げを考えるべきと思うが考えを伺いたい。

A1 課題を考慮し、慎重に検討する

敬老会は参加を楽しみにしている高齢者が多くいる。今後の高齢化率の伸び等の課題を考慮するとともに、多くの高齢者に参加をいただけるよう慎重に検討していく。今年の、対象者は9,809名でした。

Q2 本市にふさわしい敬老会の開催を

敬老会対象年齢について、大野地区などは1地区に1,400人以上となり、収容する場所もない。本市にふさわしい道を探っていただきたいが考えを伺いたい。

A2 継続の検討をしたい

地域の皆さんで長寿をたたえる事業は、大変意義がある。継続できるよう、検討し対応していきたい。

↓ ウラ面に続きます。

質問3、東日本大震災、その後の対応について

Q₁ 鹿嶋市の復旧状況と今後の見通しについて

本市の復旧がなぜ具体的に進まないのか、どこをどう進めていくのか伺う。道路、上下水道、港湾、農業用施設、漁民の生活の場である漁港の整備。鰐川、北浦沿いの堤防の修復について、それぞれ伺いたい。

A₁ 3年間を目標に復旧工事を進める

道路の復旧・復興について、鹿嶋市建設業協同組合と委託契約を結び、緊急対応処理に努めてきた。被災の大きい箇所については、国の災害補助の査定が終了し本格復旧に入る予定です。鹿島港については、全ての港湾施設において24年度中に復旧完了を目指す。又、農業用施設の災害復旧状況については、一部を除き完了している。漁業関連施設について、第2船だまりが被害を受けたが、既に復旧が終了している。漁船巻き上げ施設と台車レール等については、10月稼働に向けて工事を着手している。

Q₂ 築堤の必要性について（海岸線に沿って）

平井から清水、小山では波打ち際に家があり、堤防のお粗末さに驚かされる。スーパー堤防のような上を車が走れる規模のものを作ることで、観光スポットにもなり得るのではないかと考えを伺いたい。海岸線の築堤は国・県の仕事ならば、堤防の必要性を強く訴えていくべきだと考えるが、本市の考えを伺いたい。

A₂ 築堤の必要性について

原形復旧工事に努めていく予定と聞いている。国の動向を見定めながら、必要に応じて防災・減災につながる要望を国・県等をお願いしていく。



Q₃ 原発事故における市内の子ども達への影響について

本市の子ども達を守る手段をどのようにし、どのような手段をとってきたのか伺う。子ども達への健康被害についても、どう考えているのか伺いたい。検査の必要性について、早く検査をして健康管理をしていくのが行政の責任と思うが考えを伺いたい。学校施設の除染の必要性をどのように認識しているのかも伺いたい。

A₃ 学校等の全面的な除染は必要ない

放射能の子どもへの影響について、市内の学校や幼稚園等の測定値は、毎時0・1から0・3マイクロシーベルトである。文科省が決めた暫定基準3・8よりもかなり低く、現時点で健康への影響を考慮した検査や学校のグラウンドの全面的な除染は必要ないと判断しているが、場所によって数値が違うことから、数値の高い場所の除染を進めている。

Q₄ 除染した教育施設はどこか

放射能について、数値が高いことから除染した教育施設があると聞いたが、それはどこなのか。除染の必要性について伺いたい。築堤の必要性について、原形復旧ではなく、スーパー堤防並みの堤防を築いていただきたい。

A₄ 局部的に数値の高い所は、除染処理を進めている

学校の放射能について、全面的に除染することは考えていない。校内や園内を詳細に調べ、数値が0・4や0・5という高いところでは土を除いて処理を進めている。今後も局部的に数値の高い場所は整理をしていきたい。

早急な原形復旧が必要である

海岸線の堤防の現状について、早急な原形復旧が海岸の保全と住民の安全のために必要であると考えているが、中央防災会議や県の対応を見ながら要望を進めていきたい。

あなたの声を大切に！

何時でも、何処でも私に声をかけてください。みなさまの“声”をお待ちいたしております。



ブ **ロ** **グ** も覗いてみてください。

小池みよ子の思い

検索

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>

皆さまのご意見もお気軽にお寄せくださいませ。



ボランティア活動も頑張っています。